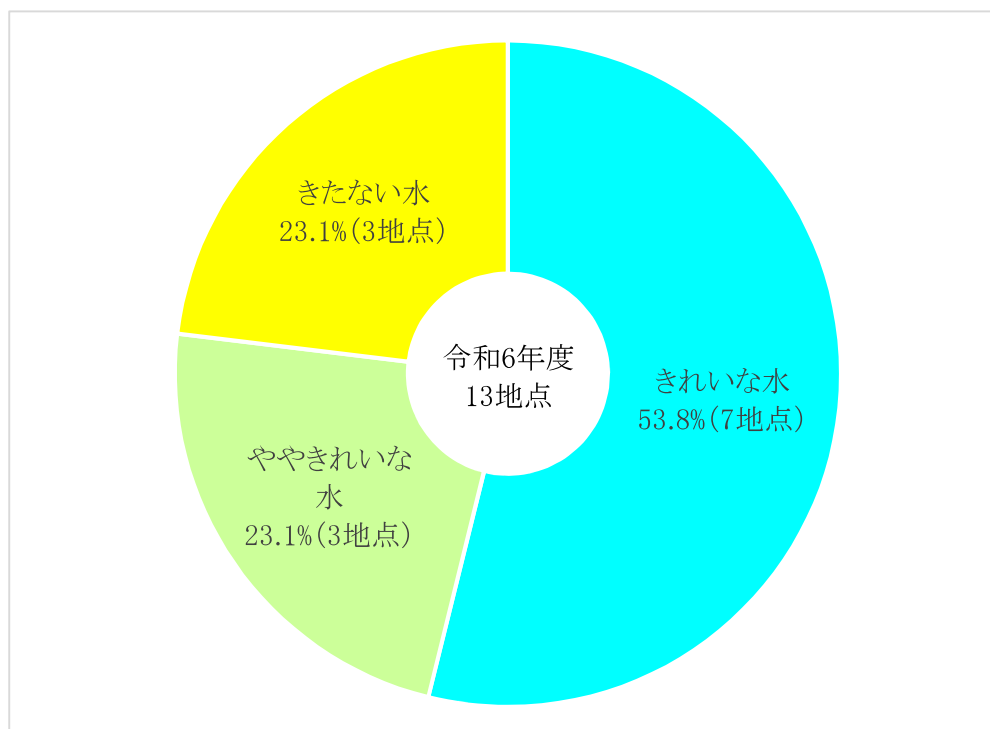


2. 調査結果

(1) 水質階級別調査地点数の割合

水質階級別調査地点数は、図 1 に示すとおり、水質階級が“きれいな水”と判定された地点は 7 地点(53.8%)、“ややきれいな水”と判定された地点は 3 地点(23.1%)であった。

一方、“きたない水”と判定された地点は 3 地点(23.1%)、“とてもきたない水”と判定された地点はなかった。



＜図 1＞水質階級別調査地点数の割合

(2) 前年度に対する水質階級の比較

令和 6 年度の調査地点 13 地点のうち 10 地点が令和 5 年度と同じ地点での調査であった。水質階級を比較すると、10 地点すべて前年度と変わらなかった。

(3) 水生生物調査結果一覧

水生生物調査結果一覧を表 3 に示す。

(4)指標生物の出現状況

指標生物の出現頻度及び最も数が多いと報告された指標生物(優占種)の出現頻度は、表 4 のとおりである。

＜表 4＞ 指標生物の出現頻度及び優占種となった指標生物の出現頻度

水質 階級	指標生物		指標生物(○+●)		出現割合 (%)	優占種(●)	
			頻度(回)	割合(%)		頻度(回)	割合(%)
Ⅰ きれいな水	1	アミカ類	0	0.0	41.5	0	0.0
	2	ナミウズムシ	6	7.3		4	14.3
	3	カワゲラ類	4	4.9		0	0.0
	4	サワガニ	4	4.9		2	7.1
	5	ナガレトビケラ類	4	4.9		1	3.6
	6	ヒラタカゲロウ類	5	6.1		3	10.7
	7	ブユ類	0	0.0		0	0.0
	8	ヘビトンボ	4	4.9		1	3.6
	9	ヤマトビケラ類	4	4.9		1	3.6
	10	ヨコエビ類	3	3.7		2	7.1
Ⅱ ややきれいな水	11	イシマキガイ ※	1	1.2	28.1	0	0.0
	12	オオシマトビケラ	2	2.4		2	7.1
	13	カワニナ類	4	4.9		0	0.0
	14	ゲンジボタル	1	1.2		0	0.0
	15	コオニヤンマ	4	4.9		0	0.0
	16	コガタシマトビケラ類	5	6.1		4	14.3
	17	ヒラタドロムシ類	1	1.2		0	0.0
	18	ヤマトシジミ ※	5	6.1		1	3.6
Ⅲ きたない水	19	イソコツブムシ類 ※	0	0.0	23.2	0	0.0
	20	タニシ類	2	2.4		1	3.6
	21	ニホンドロソコエビ ※	2	2.4		0	0.0
	22	シマイシビル	4	4.9		1	3.6
	23	ミズカマキリ	4	4.9		1	3.6
	24	ミズムシ	7	8.5		3	10.7
Ⅳ きとたない水	25	アメリカザリガニ	1	1.2	7.3	1	3.6
	26	エラミミズ	1	1.2		0	0.0
	27	サカマキガイ	2	2.4		0	0.0
	28	ユスリカ類	1	1.2		0	0.0
	29	チョウバエ類	1	1.2		0	0.0
合 計			82	99.9	100.1	28	100.1

(注) ※は、海水の少し混ざっている汽水域の生物

(注) 割合については四捨五入のため、合計が 100%にならないことがある。